

体制

1. TO 一覧

チーフ TO / サブチーフ TO 一覧

名前	ポジション	役割	連絡先
武田広明	チーフ	ラン統括	自転車、ヘルメット
下方純代	サブチーフ	ラン移動兼務(主に先導)	自転車、ヘルメット

TO 一覧および担当エリア

名前	ポジション	担当・役割	備考・備品
陣川 学士	移動	最後尾	自転車、ヘルメット
小室博之	H10	ラン1km折り返し/AS	
三井はるみ	H10	ラン1km折り返し/AS	
廣實正人	H11		
石野恵子	H12		
伊東豊信	H13		
篠原凧沙	H14	AS 兼務	
鶴見耕市	H15	ラン折り返し	
多田裕彦	H2	H2リーダー	※1
金子英一	H2		※1
中村安夫	H2		※1
田前正博	H2		※1
宇治橋裕俊	H2		フィニッシュをサポート
三品喬弘	H2	H1兼務	
		※1. バイクチェックイン等はトランジションをサポート	

業務詳細・留意事項

1. 共通事項

■アクアスロン ペアチャレンジ A・B の部のみ、コースが変更になります。およそつぎのタイミングにて、H10担当の TO は対応をお願いいたします。

- ・第11ウェーブ(A:No. 1501～、B:No. 1551～、人数11名)スイムスタート時間12:50より想定し、13時過ぎに通過予想です。(尚、他のウェーブは、まだ通常コースを競技中です)

■例年、観客等がコース上に入ってくるが多々有り、競技をスムーズに遂行するためには適切な状況判断が求められています。競技の安全を最優先に審判業務に携わっていただくよう重ねてお願いいたします。

■ランコースは6つのブロックに分け、各ブロックに審判員とスポーツ推進委員を配置します。担当ブロック内について責任をもって管理運営してください。(横断歩道の担当への指示等要)

■ブロックとブロックが接する場所は、各ブロックの審判員が協議して境界を決定し、コース上に管理空白地点を発生させないよう対応してください。

■休憩や昼食は、競技の合間を縫って適宜交代で取ってください。

■H2リーダーは、トランジションでのバイクチェック、乗降車ラインでのサポートおよびフィニッシュでのサポートを各チームの要請に従い、H2担当者に指示してください。

■エリアが広範囲に渡りますので、問題等が発生した場合、つぎのレベルで連絡・報告をください。

- ・通常レベル → チーフ・サブチーフ巡回時連絡・報告
- ・至急レベル → チーフ(武田:090-8565-7497)もしくはサブチーフ(下方:?)の携帯へ連絡・報告
- ・緊急レベル → 技術代表(岩田:090-4173-3765)

2. 業務別詳細および留意点

■各ブロック別の審判員とスポーツ推進委員の配置は、「スタッフ配置図」の通りです。ブロック単位に審判員はスポーツ推進委員と協力して競技に支障の出ないよう責任を持って、安全を最優先にしてコースの維持管理をしてください

(1)審判員

■担当ブロックの準備を最優先で実施してください。準備の遅れているブロックがあった場合は、協力して早期に完了するよう対応してください。

■競技中においてもカテゴリにより当面選手が来ないと判断した場合には、自ブロックの運営に支障のない範囲で他のブロックの支援を適宜してください。

■スポーツ推進委員に任せられることは極力任せて、審判員は担当ブロック内を適宜巡回し競技に支障の出ないよう留意してください。

■スポーツ推進委員には、競技スケジュールを教えて役割を明確に指示し行動させてください。大きな声を出して選手の誘導や観客のコントロール等を積極的に担当させると共に、競技終了後に撤収する際には、担当ブロック内のコーン等の機材の集約も指示してください。もし、指示通り行動しない場合は注意をすること。それでも改善しない場合は、チーフやサブチーフに連絡してください。

(2)スポーツ推進委員への対応

■スポーツ推進委員には、主に選手のランコース誘導と観客のコントロールを担当させてください。なお、現場の状況を踏まえて審判員の判断により他の作業の担当をさせる等適宜対応してください。

■担当ポジションは、配置図の通りですが、現場の状況や競技の進行により適宜担当ポジションが変更になることを事前に周知させておいてください。

- 担当ポジションに、ただ立っているだけでなく周囲の状況も常に注意してコース管理を行うよう指導してください。
- コースのショートカット、レースナンバーが正面に無い、ウェアのファスナーが下がっている等の選手を発見した場合は、レースナンバーを控えて審判員に報告するよう指導してください。

3. 競技規則について（ラン）

- 本大会は(公社)日本トライアスロン連合競技規則および以下のローカルルールが適用されます。
- ランでは、上下ともウェアとシューズを着用すること。上下半身とも裸禁止です。発見した場合は着用させてください。
- シューズを履かずに裸足のまま競技することはできませんので、発見した場合はシューズを履かせてください。
- レースナンバーは正面に表示すること。ずれている場合、見づらい場合等は直させてください。
- 前空き前ファスナー付ウェアの着用は可ですが、前ファスナーを下げた状態のまま競技を行うことはできません。発見した場合はファスナーを上げさせてください。
- 刺青(タトゥー)は、競技中露出させないようにウェアで全て隠すよう指導してください。手首まである場合などは、長袖のウェアで隠して競技をさせてください。ワンポイントのタトゥーもテーピング等で見えないように工夫させてください。(選手への参加案内には明記されていませんので出来るだけお願いしてください)
- シューズを履かずに裸足のまま競技することはできませんので、発見した場合はシューズを履かせてください。(ラン競技のみ、かかと部を固定できるサンダル、ワラチ可能)
- ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま、競技を行うことは禁止されていますので、見つけた場合は、使用しないよう指導してください。
- アクアスロンペアチャレンジ(小学生)において、リレー後お子様との並走は、事前に許可を受けた場合以外は不可です。

4. 救護を要する選手の対応

- 競技運営マニュアルに準じる

5. 制限時刻対応

- トライアスロン 一般・リレー・パラ → ラン終了まで125分(2時間5分)
- アクアスロン 一般・ペア → ラン終了まで60分(1時間)
- アクアスロン ペアチャレンジ A → ラン終了まで20分
ペアチャレンジ B → ラン終了まで30分